

# 平成29年度の中学校国語科の問題点

CHECK!!



## 教師主導の詳細な読解が主たる活動となっている授業

- 適切な言語活動が設定されていない単元
- 必然性のない少人数活動
- 言語活動を行ううえで、生徒自身が気付くことと教師が教えるべきことの整理がついていない授業

CHECK!!



## より具体的な評価規準の設定ができていない

- 評価規準が具体的でないため、生徒の状況の見取りが不十分→指導の充実につながらない
- 課題解決のための手法が適切でないため、一人一人の見取りが十分にできず、支援が必要な生徒に有効な指導ができない。



# 平成30年度の国語科の改善のポイント

## POINT 1

### 適切な言語活動とその充実が図られる単元設定

- ① 付けたい力を付けるにふさわしい言語活動であるか
- ② 多様な図書資料等が有効に活用されているか
- ③ 既習事項(または知識・技能)を活用する言語活動であるか
- ④ ③のために知識・技能の確実な定着を図っているか

## POINT 2

### 生徒の主体的な学びを促す「めあて」等の設定と指導に生かすことができる「より具体的な評価規準」の設定

- ① 適切な「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の設定があるか、また、国語の学習として適切な「振り返り」となっているか
- ② 指導事項・指導領域・評価の焦点化が見られるか
- ③ 「B おおむね満足できる」状況が具体的に想定され、それを判断する場面や方法は適切であるか
- ④ 「C 努力を要する状況」の児童への指導や支援は行われているか

## 参考資料

# 国語科の授業を構想するポイント

### ① 指導事項(資質・能力)を設定

→当該単元で付けたい力を明確にする

### ② ①を指導する上で、適切な言語活動を設定

→設定した言語活動は、児童生徒に①を指導する上でどのような効果を果たすのかを考える

➤ プラス1の工夫(創意工夫)

### ③ ①の内容について、適切に評価する

→①の内容が、児童生徒に身に付いたかどうかをどのように判断し、評価するかを具体的に考える